

久留米市長選挙立候補予定者名： 原口 しんご

1. 貴方は、久留米市の将来に対してどのような構想・ビジョンをお持ちでしょうか。貴方が描く久留米の未来を具体的にお示しください。（1,200字以内で）

私が生まれ育った久留米市。みんなが明るく生き活きと生活できる街であってほしいと願っています。

長期的な視点で久留米市を俯瞰しますと、「持続的に発展する県南の中核都市」であるべきだと考えます。日本では今後少なくとも数十年は人口減少が続きます。久留米市が将来ともに住みやすく、生き活きと生活できる地域であり続けるには、県南の中核都市として高い都市機能を維持強化しなければなりません。具体的には、

- ・仕事、雇用の場があること
 - ・生活基盤が維持・充実されていること（交通、道路、住宅、上下水道、消費など）
 - ・安心・安全に生活できること（医療、福祉、災害防止など。特に医療は久留米の魅力）
 - ・子育て環境、教育環境（幼～高等教育）が充実していること。
 - ・潤い・憩いのある生活ができること（文化スポーツ、観光、自然環境、情報、娯楽など）
- などが重要だと思っています。

その上で、現在の久留米市の足元を見ますと新型コロナウイルス感染症や4年連続の水害で市民生活、地域経済は大きく傷みました。将来を見据え、地域経済を支えながら、市民の生活を守る「街を伸ばし、暮らしを守る」取り組みを三つのまちづくりの視点と五つの重点施策をもって進めたいと考えています。

市議会30年の活動と経験をもって、幅広い力を結集して市民の声が届くまちづくりに力の限り取り組む覚悟です。

まちづくりの視点

●安心・安全のまち

新型コロナ感染症から市民の健康、安全を守る

4年連続で水害にあった久留米市を災害から守る

●活力のあるまち

新型コロナで傷んだ地域経済を振興する

生活の基礎となる雇用の場を確保する

●生き活き生活できる、活躍できるまち共生のまち

女性、子ども、障がい者、社会的少数者などすべての人の人権を守る

女性が活躍する地域社会づくりを進める

子育て支援、教育、介護、福祉などを充実する

五大重点施策

●保健所の強化

新型コロナウイルス感染症対応の中核を担う保健所は、災害・健康危機管理の拠点機能や診療施設としての機能が不十分です。感染症や災害時にも効果的に、効率的に機能が発揮できるような保健所の強化に取り組み、市民の健康を守ります。

●防災機能の強化

久留米市は4年連続で広範囲にわたり甚大な浸水被害にあいました。国、県と連携してグラウンドや公園などを利用した「貯留施設の整備」や「排水機場のポンプ増設」「護岸のかさ上げ」などを進め、水害から久留米市を守ります。

●新産業団地の整備

久留米・うきは工業団地の久留米市側は完売。他の市内産業団地にも空きがなく、企業の進出機会を逃したり企業の市外流出の懸念があります。

次期産業団地の整備に取り組み、地域経済を支える産業の集積、雇用の創出を進めます。

●六次産業の推進

農業都市久留米で農業の担い手が少なくなれば、農業・農村が持つ様々な機能が失われます。

公開質問状回答 原口しんご候補

生産した農産物を付加価値の高い加工品として販売したり、農業体験事業や農家民泊など6次産業化を積極的に支援し、農業・農村の活性化に取り組みます。

●スポーツ、文化、芸術などの育成と発掘

スポーツや文化、芸術などは人と地域に活力や潤いを与えてくれます。久留米市はスポーツ選手、ミュージシャン、画家、芸能などで多くの著名人を生み出しています。これからもそうした志を支援し夢がかなう街を目指します。

2. 新型コロナ対策について

① 懸念される第6波に向けてどのような対策をお考えでしょうか。(200字以内で)

まず、保健所体制の備えです。これまでに得た知見、ノウハウを活かし、感染状況に応じて機動的で柔軟な体制を構築するとともに、感染症や災害時にも、より機能を発揮できるよう保健所の強化を進めます。

また、自宅療養者等への「在宅往診」の仕組みや重症化予防としての「抗体カクテル療法」の体制を備えます。併せて、施設従事者を対象にしたPCR検査の継続実施とともに、速やかなワクチンの3回目接種等に取り組みたいと考えています。

② 経済的に苦境にある市民への市独自の支援策をお考えでしょうか。

・ 久留米市民向け (200字以内で)

これまで、国の「特別定額給付金」や「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」などの支援を着実に実施しています。市独自でも「ひとり親家庭支援給付金」などの支援を行い、現在も「妊娠出産支援特別給付金」、多子世帯や障がいのある子どもがいる世帯への「子供の笑顔給付金」などの支援を実施中と承知しています。今後も国等の支援を速やかに着実に実施するとともに、市民生活、社会経済状況に応じた分析、検討が必要だと考えます。

・ 学生向け (200字以内で)

これまで市独自の取り組みとして、生活困窮学生への「大学等就学応援給付金」や就学援助受給世帯への「おこめ券」などの支援を行っているものと承知しています。今後も学生の状況等について大学等とも意見交換するなど、その状況に応じた分析、検討が必要だと考えます。

・ 中小企業と自営業者へ (200字以内で)

これまで多くの独自支援を行っており、現在も「新型コロナウイルス感染症特別枠」を設けた制度融資の充実や、市独自の上乗せをする「事業継続緊急支援金」などに取り組んでいるものと承知しています。今後も関係団体と連携し、その状況に応じて事業継続等に必要な支援を検討していく必要があると考えています。

3. 久留米市民の暮らしと市政について

① 国民健康保険料について

久留米市民が負担する国保料は、他の市町村と比較しても高額になっています。特に合併した旧4町の国保料は大幅に増額されています。この高額な国保料を減額する考えはありますか。(200字以内で)

国民健康保険については、平成30年度に県単位の広域化されております。それ以降は、福岡県国民健康保険運営方針において保険料負担軽減のため、市町村が法定外繰入や繰上充用を行うことは解消・削減すべきものとされており、国の交付金が削減される仕組みもあるものと承知しています。

② 雇用について

働く市民の職場において、非正規労働が増加して、未来に希望が持てない青年が増えています。この点について、どうお考えでしょうか。(200字以内で)

若い世代が正社員として働く機会がなく、不本意での非正規労働とならざるを得ない状況は改善しなければならないと考えます。特に、コロナ禍においては、不安定な非正規労働の課題がより大きくなっています。

公開質問状回答 原口しんご候補

地域の若い世代が未来に希望を持つためには、それを支えるだけの経済的基盤を有することが必要です。質量ともに安定した雇用の創出・確保に向け地場企業の振興や新産業団地の整備等による企業誘致、6次産業化等の産業振興を進めたいと考えています。

最低賃金では十分な生活ができず、また結婚さえできません。この最低賃金についてどうお考えでしょうか。（200字以内で）

労働者の生活の安定を図るという点で、最低賃金の水準は非常に重要であると考えます。国も経済好循環を進めるために、その引き上げを重点施策として取り組んでいるものと承知しています。

国・県と連携して、地域企業に最低賃金を守っていただくことはもとより、地域企業の生産性や収益等の向上を支援し、労働環境や待遇の改善を図っていくことが重要であると考えます。

役所では、正規の市職員を減らし、非正規職員を増加させています。このことについてどう評価し、どのようにしていこうとお考えでしょうか。（200字以内で）

職員の任用形態については、正規職員を基本として、複雑多様化する行政事務の種類や質、量等にに応じてその他の任用形態を組み合わせていくべきものと理解しています。したがって、単に正規職員数の削減を求めるのではなく、トータル的な人件費という視点を持ちながら、業務内容に応じたバランスの取れた適切な任用を行うことが重要であると考えます。

小中学校の教員として、多くの非正規雇用が採用されています。児童のためには、正規雇用の職員にすべきと考えますが、どの様に考えますか？（200字以内で）

久留米市の小中学校の正規教員率は、全国平均及び福岡県平均を下回っていると承知しています。必要な代替雇用はありますが、基本的には正規教員であるべきだと考えます。そうした考えのもとで、教員の採用を行う福岡県に対して正規教員の配置を強く求めていく必要があると考えています。

③ 中小零細企業に対する支援

合川に大型店舗ができ、久留米の商店街は散々たる状態です。このような商店街に対して、久留米市としてどのような支援をしていきますか。（200字以内で）

大型ショッピングモールの立地に加えて、ネット通販の拡大やコロナ禍の影響によって、来街者数が減少するなど、中心商店街は非常に厳しい環境に置かれています。

活性化のためには、久留米シティプラザや六角堂広場をさらに活用して人の流れを増加させることはもとより、若い人のアイデアなどを生かし、商店街がより魅力的になることが必要であると考えます。そのための支援にしっかりと取り組みたいと考えています。

地元で働く多くの人たちは中小零細企業で働いています。このような中小零細企業に対して、久留米市としてどのような支援をしていきますか。（200字以内で）

私はこれまで、中小零細事業者が、その分野、その業種で事業が継続でき、従業者も生活できよう様々な活動を行ってきました。今後もその信念で取り組んでまいります。

そして、現状下では、まずはコロナ禍で傷んだ中小零細企業の経営を、速やかに、そしてしっかりと支援したい。そして、商工団体等と連携して、地域の中小零細企業が将来にも生き残っていくため、成長していくための効果的な政策を展開していきたいと考えています。

④ 資源の循環や再生可能エネルギーの自給を進めていく政策として、隣町の大木町のような生ゴミの資源化の政策について、どう思われますか。（200字以内で）

市民が出される可燃物の中には生ゴミが相当程度含まれています。処理経費のみならず世界的な課題として循環型社会の形成やCO2削減が求められる中で、生ゴミ自体の削減や資源化は重要な課題です。将来的には、年間数万トンの生ゴミを長期安定的に安全に処理できる技術の信頼性、収集運搬等も含めた環境への影響、経済性、市民の負担等を総合的に勘案し、検討する必要があると考えます。

焼却ゴミをさらに減らし生ごみ資源を生かすために、農業地帯である久留米市として、小規模なバイオガスやソーラーシェアリングや市民農園などの普及支援で、農家の所得安定化と市民農業活性化などの農業支援をどう思われますか。（200字以内で）

ソーラーシェアリングや市民農園などについては、耕作放棄地対策や農地の有効利用策として有用であり、市民が環境と農業を考える良い機会になるものと考えます。

一方で農家の所得安定のためには、久留米産農産物の認知度向上や地産地消の推進、販路の拡大などが重要であると考えています。そのためにも、農産物のブランド化や6次産業化など、販売力強化に繋がる取組を強化し、推進していきたいと考えています。

4. 防災計画について

① 佐賀の玄海原発において、放射性物質が原発敷地の外に放出される事故が起こる可能性があると考えていますか。（200字以内で）

いかなる事故も完全に否定することは難しいと考えます。玄海原子力発電所に限らず原子力発電については、安全性の確保が最優先です。

玄海原子力発電所において発生したトラブルについては公表されているようですが、原子力規制委員会による厳格な審査、国や事業者における安全性の向上と情報公開の徹底が図られるべきだと考えています。

② 久留米において、玄海原発事故を想定した避難計画を立てる必要がありますか。（200字以内で）

玄海原子力発電所から久留米市までの距離は約60kmであり、国の原子力災害対策指針に基づく予防的防護措置を準備する区域、緊急時防護措置を準備する区域には含まれていないものと承知しています。その上で、久留米市地域防災計画には「原子力災害への対応」について定められており、避難については広域的な連携が必要となることから国、県と連携して対応していくものと理解しています。

5. 保育・教育環境

① 久留米市の保育所の詰め込みクラスの解消と施設の拡充をどう進めますか。（200字以内で）

久留米市の保育所では、国の基準に適合した保育室面積や保育士数を確保していると承知しています。

一方で、需給のアンバランスなどから待機児童の解消には至っておらず、今後の保育需要の動向もにらみつつ、施設間の調整や保育士の確保等に積極的に取り組み、子どもたちの教育保育の量の確保と質の向上を図りたいと考えています。

② 子どもが日々学ぶ学校の環境は、子どもが十分な教育を受ける環境にあるでしょうか。どのようなことが足りないでしょうか。子どもが日々学ぶ学校の教育・生活環境をどのように充実させようとお考えでしょうか。（200字以内で）

地域の宝でもある子ども達の「生きる力」を育むには、

- ・より良い授業が受けられること
- ・安全で安心して学べる環境であること
- ・学校、家庭、地域が協力する学校づくりが進められていることが重要であると考えます。

具体的にはいじめ問題への対応の徹底や、教師力の向上と働き方改革等、様々な課題について教育委員会と共有し、綿密に連携しながら、双方役割分担のもとで教育環境の充実に取り組みたいと考えています。

③ 小規模校が増えてきました。小中学校の再編についてどのようにお考えですか。（200字以内で）

最も重要で基本的なことは、児童生徒にとって望ましい教育環境を整えることです。過小規模、過大規模校の教育上のデメリットなどを踏まえて、適正規模・適正配置について検討すべきであると考えています。

公開質問状回答 原口しんご候補

なお、学校区を再編する場合には、地域コミュニティ等への影響を十分考慮し、地域の皆様のご理解を十分に得ながら進める必要があると考えています。

④ 学童保育所など子どもの放課後の生活環境についてどのようにお考えですか。(200字以内で)

一部に新型コロナウイルスによる利用控えは見られるものの、放課後児童の安全で安心な居場所となる学童保育所へのニーズは極めて高いと肌で感じています。そのため学童保育所の充実は大きな課題ととらえていますが、校区によっては整備や体制が追い付かず、定員超過や高学年の受け入れ未実施の校区もあると承知しています。ニーズを受け止め、より安心して利用いただけるよう一層の施設の充実と指導員の確保が必要だと考えています。

⑤ 小中学校の学校給食の無料化を実施すべきと思いますが、どの様に考えますか？(200字以内で)

子育て支援としては無料化ができればより好ましいとは考えますが、学校給食の無料化には毎年8億円ほどの経費が必要になると承知しています。また、20%を超える世帯には既に就学援助制度で全額支給されていると聞いており、現時点で給食無料化の見通しを立てることは困難であると考えています。

6. 国政に関して

① 消費税を10%に増税しました。この消費税増税により市政はどのような影響を受けましたか。対応して久留米市の独自の政策をお考えですか。(200字以内で)

消費税率の引上げに伴い、市への地方消費税交付金が増収となっているものと理解しています。消費税率の改正は、増大する社会保障費の安定財源を確保するためのものであり、市の増収については、児童福祉・高齢者福祉・障害者福祉・生活困窮者対策等、社会保障施策の充実に活用されているものと承知しています。

② 憲法9条を変更する考えについて、どのようにお考えですか。(200字以内で)

我が国の憲法は、悲惨な戦争を経て制定されたもので、二度と戦争を起こさないことを根本理念としなければならぬと考えています。

憲法改正については、その理念の下で、時代や国際情勢の変化に伴った国民的な検討、議論を十二分に行われたうえで、慎重に判断されるべきものと考えています。

③ 原子力発電所の再稼働に賛成ですか、反対ですか。(200字以内で)

まず、国のエネルギー政策としては安全で安定的な電源の確保のほか、温室効果ガスの削減という世界規模の重大な課題に対応しなければなりません。今後、CO₂の排出が大きい火力発電などを抑制し、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの拡大を加速化する必要があります。

したがって、その他の電源は政策的に下げていく必要があると考えますが、専門的見地から再稼働可能とされた原子力発電の再稼働については、社会、経済活動を維持できる安定的電力の確保など国レベルのエネルギー政策として議論し、判断されるものと考えています。